

# 川上ダム通信

2021  
3  
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索  
(右のQRコードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



Vol. 187  
Since 2005



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中!  
[https://twitter.com/jwa\\_kawakami](https://twitter.com/jwa_kawakami)

ご意見・ご感想はこちらへ  
e-mail: [somu1@lily.ocn.ne.jp](mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp)

## 労働災害を未然に防ぐ取組みのご紹介



安全協議会のようす

川上ダム建設所安全協議会は当建設事業による労働災害を防止し、工事を安全円滑に推進することを目的として四半期に一度開催しています。会議の主な内容は当建設事業に関わる受注者に参加していただき、法令や規則の改正の周知など情報共有を行っています。合わせて、工事現場内の安全パトロールを行い、危険箇所や危険行動の指摘や確認をしています。安全パトロールは安全協議会内の他に、労働安全コンサルタントや職員によって毎月実施しています。

また、当建設所では安全協議会の他に安全に関する様々な取組みをしています。その一例をご紹介します。



### フルハーネス型安全帯作業特別教育を受講！



法改正の内容について学びました

平成31年2月1日の労働安全衛生法改正に伴い、「高さ2m以上の箇所において、作業床を設けることが困難な場合で、フルハーネス型を使用して行う作業」などの業務を行う労働者は特別教育を受ける必要があります。当建設所の職員においても工事現場の立会いや検査を行う際に墜落の恐れがある場合はフルハーネス型安全帯を使用します。

そのため、2月3日(水)に当建設所の職員22名がフルハーネス型安全帯作業特別教育を川上ダム建設所内で受講しました。本特別教育では高所作業時において使用される「墜落制止用器具」に関することや改正内容についての学科を受けた後、実際に参加者全員が墜落制止用器具を装着し、正しい使用方法についての実技を受けました。

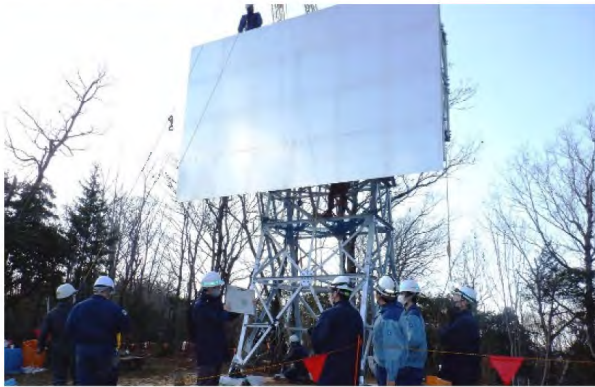
現在、三重県内における労災死亡事故が多発しており、死亡災害の撲滅を目指した取組みとして「労災死亡事故多発緊急宣言」が発令されております。当建設所においても労災死亡事故が発生しないよう気をつけてまいります。



正しい着用方法を学びました

【工務課 山田 聖】

# 反射板工事の見学会を開催しました！



現地見学会のようす



リモート見学会場のようす（大阪府にて）

川上ダム通信1月号でご紹介した反射板工事の続報です。令和3年1月25日（月）、奈良県山添村に建設中の反射板工事において、若手職員のスキルアップを目的として見学会を開催しました。反射板は一度建設すると数十年に渡り使用することができるため、反射板の新設工事に立ち会うことは貴重な経験となります。

大阪府、京都府などの遠方の事務所からも参加者が訪れる予定でしたが、1月14日（月）に緊急事態宣言が発令されたことを受けて、現地見学会の参加は三重県内にある近隣事務所だけに規模を縮小し、遠方の事務所の職員は現地から360度カメラを利用したLIVE映像配信によるリモート見学会に参加しました。

経験する機会の少ない反射板工事の現場に立会うことができ、現地参加者、リモート参加者の双方とも有意義な見学会となりました。コロナ禍においても、今後もICTを活かして職員の技術力向上に努めてまいります。

反射板工事のようすが分かる動画をTwitterにあげておりますので是非見てください。【機械課 伊藤 大】

## 全ての基礎地盤検査を無事終了！

令和3年2月2日（火）、ダムサイト左岸にて川上ダム本体の「基礎地盤検査」を受検しました。今回最後となる基礎地盤検査は、ダムサイト左岸の標高271.5～276.0mの岩盤面が対象でした。

コンクリートダムで実施する基礎地盤検査は、コンクリート打設前に基礎掘削後の岩盤面の硬さ、亀裂、湧水や大きな凹凸の有無、清掃状況を確認し、ダムの基礎地盤の適否を検査します。

川上ダムでは、国土交通省近畿地方整備局の検査員により、令和元年5月29日の第1回基礎地盤検査でダムサイト左右岸端部及び減勢工を受検した以降、



書面検査のようす



ハンマーで叩き、岩盤面の硬さを確かめるようす

コンクリート打設等のダム本体工事進捗に応じて、1ヶ月1回程度の頻度で受検してきました。

最後の検査を含め全21回の基礎地盤検査を通して、川上ダムの堤体コンクリートを支える基礎地盤の評価は、事前調査で想定していたとおりの硬い岩盤であり、ダムの基礎地盤として問題ないことを確認していただきました。

川上ダムの堤体コンクリート打設はいよいよ終盤に差し掛かっています。引き続き安全第一で工事を進めてまいります。【工事課 村上一徳】

# 令和2年度消防訓練を実施！



消防署の方の立会いのもとで通報訓練を行いました

当建設所では、消防訓練を毎年実施しており、今年度も令和3年1月20日（水）に伊賀消防署南分署の方をお招きし、「通報訓練」「避難訓練」「消火訓練」の3つの訓練を行いました。

まず「通報訓練」では消防署の方の立会いのもと、実際に119番に電話をしました。消防署から「火事ですか？救急ですか？」といった確認のあと、避難状況やけが人の有無、出火場所の報告をしました。119番通報は減多にすることがないので、緊張しましたが落ち着いて状況報告をすることを心がけました。



的に向かって放水しました

「避難訓練」では、当建設所で作成している「消防計画」で定められた避難経路に沿って出火箇所を想定しながら避難しました。

最後の「消火訓練」では、水消火器を使用して訓練を行いました。まず大きな声で「火事だ！」と周囲に知らせた後、安全ピンを抜いてホースをしっかりと持ち、レバーを強く握り炎に見立てた的へ消火を開始しました。消火器を使う機会がほとんどないため、自身が想定していたより時間を要することが分かりました。消防署の方からは実際の火災現場では消火器が使いこなせず、初期消火が行えなかったケースがあると伺いました。

今回の訓練で学んだことをふまえ、職員一人ひとりが日頃から意識を高め緊急時に備えてまいります。【総務課 山口貴大】

令和3年

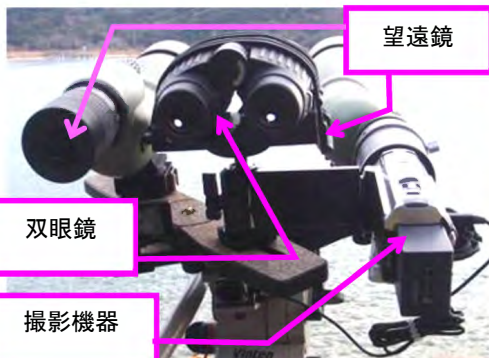
# 希少猛禽類調査を実施します！

猛禽類とは、鋭いツメとクチバシを持ちほかの動物を捕食する習性の鳥類であり、一般的に生態系の頂点に位置します。川上ダム周辺では希少猛禽類である「オオタカ」がこれまで継続的に確認されています。

今年も、オオタカが繁殖活動に入る冬ごろから幼鳥が巣立ちする夏ごろまで希少猛禽類調査を行います。

調査は定点観察や林内踏査を実施し、確認された希少猛禽類について確認位置や行動、個体の特徴等を記録します。林内踏査において営巣地で繁殖が確認された時には、固定カメラによる長時間の撮影を行い、人の存在による影響をできるだけ避けつつ繁殖状況を記録します。また、同時に騒音の測定を行い、工事の騒音が希少猛禽類の繁殖に影響を与えていないかを確認します。

当建設所は川上ダムが完成した後も希少猛禽類が永く生息できるよう、引き続き調査してまいります。



調査に使用する代表的な機材



定点観察のようす



林内踏査のようす

【環境課 小山和也】

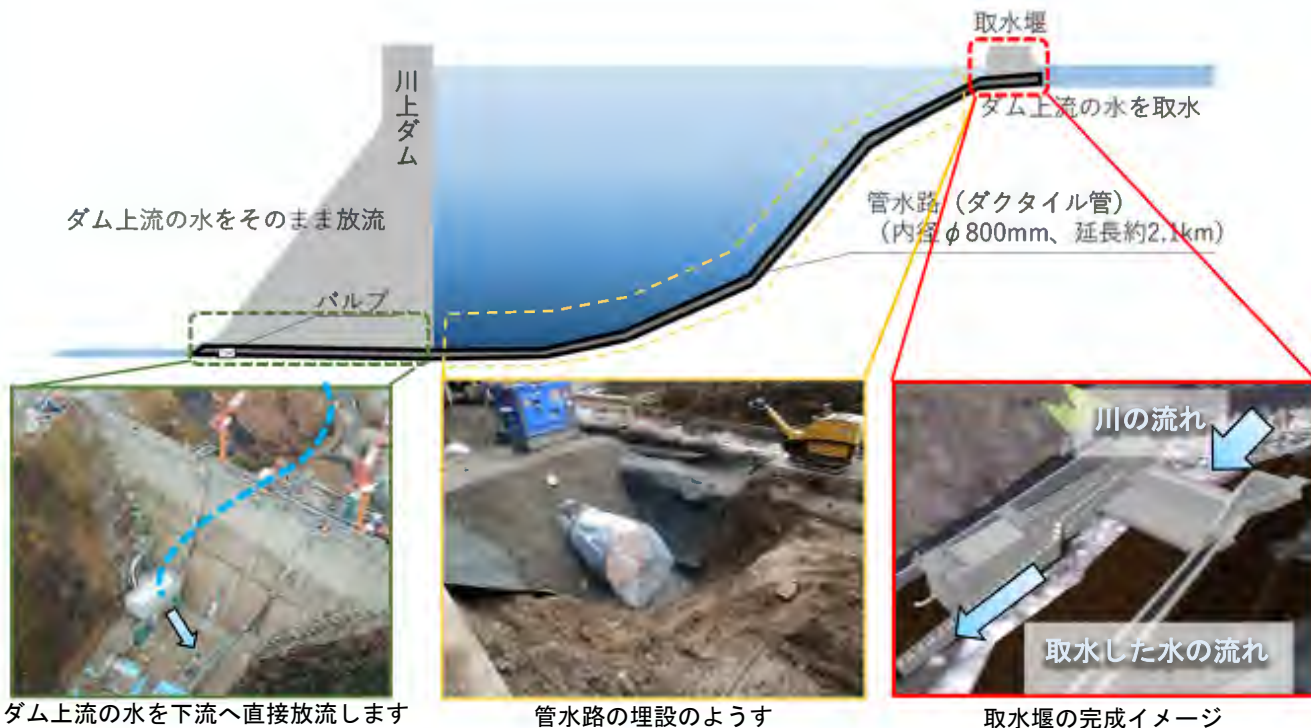
## 川上ダム流入水バイパス建設工事

今回は流入水バイパス建設工事について紹介します。

流入水バイパスとは、ダム上流の水を貯水池に溜めずに直接ダム下流へ放流するための施設です。

川上ダムでは、秋から冬にかけてダムからの放流水温が河川水温よりも高くなることを見込まれているため、流入水バイパスを設置して、下流に生息する生物への影響の少ない、より高度なダム運用を目指しています。

建設工事は上流の水を取るための取水堰とダム下流へ水を引くための管水路（ダクタイル管）から構成されています。取水堰は堤高8m、堤頂長56m（川上ダムは堤高84m、堤頂長334m）のコンクリート構造物となる予定です。また、管水路は約2.1kmにわたって内径800mmの管を埋設します。



ダム上流の水を下流へ直接放流します

管水路の埋設のようす

取水堰の完成イメージ

### ～本体工事の進捗状況～

■ : 完了   ■ : 施工中   ■ : 未実施

<b>転流工</b> H30.4 ▼   H30.9 ▼ 仮排水路   仮締切工 トンネル	<b>基礎掘削</b> H31.4 ▼	<b>堤体打設・基礎処理</b> ▼現在 堤体打設進捗率94.8% (1月末時点) 基礎処理進捗率46.3%	<b>試験湛水</b> ▼R3.10	<b>完成!</b> (R5.3予定)
--	------------------------	---	-----------------------	------------------------

【工事課 松尾昂祐】

### 川上ダム工事現場見学会のご案内



川上ダムでは、事業に対する理解や興味をより深めていただくため、毎月第3日曜日に午前・午後の二部構成で、工事現場見学会を開催中です。

【第28回】令和3年3月21日（日）

→受付終了しました。

【第29回】令和3年4月18日（日）

→3月1日（月）より募集開始予定です！

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とさせていただきます場合がございます。

### 編集後記

早いもので今年度も残すところあとわずかとなりました。気温もだんだん上がり、少しずつ過ごしやすくなってきておりますが、毎年暖かくなって油断した瞬間に大寒波がやってきますから、皆さまもお気を緩めずに、体調に気をつけてお過ごしください。

#### 【広報誌発行事務局】

**編集長** 洲上（所長）  
**デスク** 堀口（総務課長）   渡辺（工務課長）  
**記者** 山口（総務課）   近藤（用地課）  
 北爪（調査設計課）   戎谷（環境課）  
 山田（工務課）   渡邊（工事課）  
 下園（機械課）